

# 南海地震に備える

香川県防災局 乃田 俊信

<14>

## その他の身の回りの安全対策

### 【ガラスの飛散防止】

大地震の場合、窓ガラスや家具のガラスなどが割れて飛散し、けがをしたり、行動の自由が奪われて逃げ遅れることがあります。そこで、ガラスには飛散防止フィルムを張っておきましょう。

また、カーテンは窓ガラスの破片の飛散をかなり防げるので、夜寝る時はもちろん、昼間もレースのカーテン等を閉めることを習慣つけましょう。

### 【停電への備え】

大地震の場合、停電はつきものです。真つ暗の中では動揺・パニックが大きくなるほか、行動の自由が奪われたり、けがを

することが心配です。そこで、各部屋(特に寝室)の身近な所(手元)に懐中電灯を用意しておきましょう。また、ガラスの破片や落下物の散乱に備えて、スリッパを用意しておきましょう。

### 【火災への備え】

地震の後の火災は、自宅だけでなく地域の被害を一拳に大きくします。火災への備えは万全にしなければなりません。そこで、火元となる台所などには、各種(一般、油火災用)消火器を準備するとともに、使い方にも慣れておきましょう。また、バケツ(2個以上)や古毛布を用意したり、浴槽・洗濯機に水や残り湯を張っておく

ことを習慣つけましょう。また、努めて耐震自動消火装置付機器を使用するようにならしましょう。

### 【その他の対策】

① 寝室には、「生存空間」を作りましょう。ベッドは脚の高さの分、家具などが一挙に倒れきらないので、布団より安全です。また脱着防止用の手すりも効果があります。

② クーラー、照明器具、時計、額など壁

や柱に掛けているものが地震の揺れで落下しないようにしっかりと固定しておきましょう。

③ 食器棚やサイドボードなどの収納物が飛び出さないよ

うに、開き戸や引き出しには鍵を掛け、底にはゴムマットなどを敷いて滑り止めをしておきましょう。

④ 防災頭巾、ヘルメット、座布団、枕、帽子、タオルなど頭を保護するものを身近に用意しましょう。

### 【次号のテーマ】

次号では、「地震発生時のパニック防止」についてお話しします。



阪神大震災では多くの家庭で家財道具が散乱し、揺れの大きさを見つけた＝兵庫県芦屋市内のマンションで1995年1月